

米国との新たな通商協議（いわゆる F F R） 結果概要

平成30年8月

内閣官房 T P P 等政府対策本部

1. 会合概要

(1) 日時・場所：平成30年8月9、10日（米国時間）・ワシントンDC

8月9日 全体会合及び1対1の協議：約2時間半

8月10日 少人数会合：約1時間半

(2) 出席者：茂木大臣、ライトハイザー通商代表他



2. 結果概要

- (1) 茂木大臣とライトハイザー通商代表の間で、生産的な議論が行われた。日米両国は、自由で開かれた経済発展を実現するために、双方の利益となるように、日米間の貿易を更に拡大させること、国際経済問題での日米協力を一層進めることの重要性を認識し、今回の協議を行った。
- (2) 2日間の協議を通じ、茂木大臣とライトハイザー代表は、これまでの貿易・投資についての関心やお互いの意見を率直に交換し、双方の基本的考え方、立場及び共通認識についての理解を深めた。
- (3) その上で、双方とも、それぞれの立場の相違を埋め、日米の貿易を促進させるための方策を探究すること及び共通認識に基づき協力分野を拡大していくことで一致した。
- (4) 日米は、信頼関係に基づき引き続き協議を継続し、本年9月を目途に開催することとした次回会合において、さらに議論を深めることでも一致した。
- (5) 日本としては、T P P 1 1 の早期発効に全力を挙げる旨も伝えた。